

## 令和7年度第2回旭警察署協議会

- 1 開催日  
令和7年9月24日（水曜日）
- 2 開催場所  
旭警察署
- 3 出席者  
・協議会委員 6人                      ・警察署 6人
- 4 業務報告等
  - (1) 令和7年8月末の管内犯罪発生状況について
  - (2) 令和7年8月末の管内交通事故発生状況等について
- 5 警察署からの諮問事項
  - (1) 諮問事項  
旭市内における効果的な警察官募集活動（魅力発信活動）について
  - (2) 委員からの答申
    - 柔道や剣道の繋がりなどを利用して、警察の魅力を発信するのはどうか。
    - 警察官という職業は、「崇高で敷居が高い」というイメージを持つ人が多いと感じるので、もっと身近な職業であることをアピールしたらどうか。
    - 受験対象年齢の者だけでなく、小学生や中学生を対象に魅力を発信し、小さい頃から憧れを持たせる活動が効果的ではないか。インターンシップ（職業体験）などを行うのも良いのではないか。
    - 人目に付きやすい場所へのポスター掲示など、視覚的な募集が効果的と感じる。
    - 学校などを定期的に訪問して仕事の内容や魅力を伝えればイメージアップするのではないか。
    - 昇任制度、休暇制度、ボーナスなどについて、現在の若者向けに見直してみてもどうか。
    - 福利厚生などについて、県や国からのサポートが手厚くなると良いのではないか。
    - 外国の徴兵制度のように、国民全員が必ず経験するようなシステムがあれば、警察に興味を持つ者が増えるのではないか。
    - SNS や学校の掲示板など、多種多様なマスメディアを活用して情報を発信してはどうか。
  - (3) 答申に対する回答  
警察の仕事は、現代の若者が求めるタイムパフォーマンスやコストパフォーマンスに見合わない部分があり、採用が難しいだけでなく、離職する職員も多い。  
福利厚生なども改善されてきてはいるが、若者が求めているものとはまだまだ隔離があり、どのように埋めていくかが課題と認識している。  
まずは、働いている自分達が魅力を感じられるように努力しつつ、本日、委員の皆様からいただいたご意見を参考にして、今後の活動に繋げていきたい。
- 6 委員からの要望・意見等  
なし
- 7 答申等に対する措置結果  
なし
- 8 その他  
なし